

1. 指定管理者名	社会福祉法人多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)保育の実施に関する事(通常運営・延長保育・障がい児保育・一時保育・地域子育て支援センター事業) (2)施設及び設備の維持管理に関する事

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求めるとは、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点				
			②利用人数	10	目標値比(注) 105%以上:10点、105%未満～95%:8点、95%未満～85%:6点、85%未満:4～0点	(1) 保育の実施に関する事 ①入所年間延べ人数 96名(0歳児6名 1歳児12名 2歳児12名 3歳児19名 4歳児19名 5歳児20名 うち支援を必要とする子7名) 年間保育日数 292日 ②延長保育年間延べ人数 1794名【令和5年度 1703名】 ③土曜保育年間延べ人数 437名【令和5年度 478名】 ④私的契約・広域入所児無し	105%以上 10点	・昨年度と同程度の延長保育、土曜保育の利用があり、多様な保育ニーズに対応している。	10点
			(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	(2) 保育内容に関する事 ①特別保育…支援児担当保育士を配置し、個々に応じた適切な支援を実施した。(支援児担当職員3名) ②多治見市が推進する「いきいき遊び」や「いきいき運動遊び」などを年間を通じて取り組み、集中力と体力の向上を意識した活動を積極的に行った。 ③異年齢(なかよしグループ)での交流を行い、思いやりやあこがれの気持ちを育てる取り組みを行った。【朝の活動(毎週火・木曜日)、夏まつり等 3歳から5歳児の6・7名グループ】 ④地域の公民館祭りに参加したり、中学生の職場体験を通して多世代との関りの大切さを知るとともに、5歳児が障害者センターの方に来園してもらい、クイズやゲーム、一緒にうたを歌ったり、楽器を演奏したりして障がいを知るきっかけとした。 ⑤宅老利用者「野菊の会」と交流。クイズやうたを一緒に歌ったり、劇を見てもらったあとに給食と一緒に食べた。池田花クラブさん協力のもと「花壇作り」を行った。(年長児)また、池田小学校との交流では、5歳児が5年生と1年生と交流することが出来た。 ⑥食育の実施 バイク給食時に職員が劇を行い、食品群について学ぶ機会を設定4・5歳児が、園庭で野菜栽培を行い調理体験を実施(年長児)、毎日給食のサンプルを展示し、親子間で食について話す機会を促した。 ⑦保護者参観日(5月・2月)・懇談会の実施(6月～7月)、祖父母参観日(11月)を実施。祖父母参観はなかよしグループ(異年齢グループ)と一緒にゲームをし、歌を聞いてもらう。最後に用意しておいたプレゼントを渡し、楽しい時間を過ごすことができた。 ⑧給食については、子ども支援課管理栄養士の指導管理のもと、主任保育士と調理員が中心となってアレルギー対応を行うとともに、職員に周知・徹底し安心安全な給食の提供に努めた。保護者対象給食試食会は、3歳児クラスの保護者を対象として5月の参観・懇談会後に実施。(11家庭13名の参加) 3)その他 ①職員全体会議を月1回実施するとともに、未満児・幼児・調理員・子育て支援センター各リーダーを設置し、定期的によりリーダー会議や年齢別会議を実施 ②多治見市保育研究会(年齢部会・支援児部会)多治見市幼児教育研究会(絵本歌部会)に参加 ③公立園長会に参加情報交流や保育について共有を行う。内容を職員に周知し、公立の対応に準じて、園活動や事業を行った。 ④運営懇談会2回実施【(6月・2月) 2月は給食の試食と共に、評価をいただいた。】 ⑤苦情等の窓口は、年度当初に保護者に周知するとともに、保護者の目の届く場所に常時掲示している。 ⑥防災計画を作成し、避難訓練(火災・地震・水害・土砂災害・防火管理者による自主訓練2回)を実施。3月には消火栓訓練を実施。防犯訓練については年4回実施。うち、不審者侵入を想定した訓練を2回行った。1回は自主訓練、2回目は多治見警察署の生活安全課に依頼し、不審者訓練を実施。不審者役を行っていただき、最後に総評があった。外部からの指導で職員の学びにもなった。 ⑦園児の健康管理については、日々の健康観察のほか、嘱託医師(内科医2回、眼科医1回、歯科医1回)による健診と、6月に尿検査を実施した。 ⑧年度当初に保育施設及び運営に関する事項を説明し、同意書を受領している。 ⑨保護者との連携においては、クラス懇談会(前期・後期各1回)・個別懇談会(年1回)を実施するとともに、日々においても日課ボードの活用や口頭にて様子を知らせ、情報の共有に努めた。また、保護者会主催のイベント(風船たろう)を楽しんだり、保護者会役員との話し合いを年2回実施した。 ⑩「夏まつり」は、保護者会役員に参加していただき開催した。また、今年度も節分の鬼を保護者(2名)にお願いした。「もちつき会」については、園児で楽しむ行事とした。 ⑪AED研修(20名)、東濃ブロック研修会(7名)、若草保育園との合同研修、岐阜県保育協議会研修会、多治見市が主催する各研修会、自主研修、虐待研修、子育て支援センター連絡会研修会、不適切保育(多治見市子ども支援課景山先生)についての研修等に参加し、資質向上に努めた(外部研修はすべてリモート研修) ⑫平和中学校生徒(2年生2名)・小泉中学校生徒(2年生3名)合計5名の職場体験を実施した。 (4) 子育て支援センターの実施に関する事 ①一時保育 年間延べ 664名【令和5年度 898名】 ②開館日数 年間247日 一般来館者総数3243名(幼児1809名 大人1434名) 【令和5年度 開館日数 年間249日 3026名(幼児1652名 大人1374名)】 ③事業回数 年間65回 参加者総数1245名(幼児691名 大人554名) 【令和5年度 年間72回 973名(幼児530名 大人443名)】 ④園庭解放 毎日(月～金) 来所303名(幼児185名 大人118名) 【令和5年度 毎週月・木 1月から毎日 282名(幼児145名 大人137名)】 (5) 子育て支援センター内容に関する事 ①季節行事(お散歩、織りこし・鯉のぼりづくり、母の日プレゼントづくり、軒ぶき、父の日プレゼントづくり、どんごあそび、感触あそび、プール、水あそび、七夕会、お祭りごっこ、流しそうめんをたべよう、敬老プレゼントづくり、ハロウィン会、芋ほり体験、ミニ運動会、クリスマス会、断断分、誕生会) ②運動あそび(エアートランポリン) ③地域・多世代間交流(地域の魚を知らう土岐川観察館、消防車を見に行こう、ヤクルトタッチケア) ④食育(離乳食の話、給食試食会、スイートポテトづくり、プチケーキづくり) ⑤親の健康増進のための講座(骨盤調整、ヘッドマッサージ) ⑥親のリフレッシュのための講座(正月飾り作り、雛飾り作り) ⑦子ども講座(リトミック、手作りおもちゃ) ⑧家族参加の事業(ファミリー会親子遊び)	仕様書以上 15点	・低年齢児、支援児の受入れ依頼に対し、責任感をもって協力的に対応している。 ・地域の公民館祭りや中学生の職場体験、宅老利用者など多世代との積極的な関わりを通じて、園児の成長を促し、健やかな保育の実施に繋げている。 ・子育て支援センターへの来館者が昨年度よりも増加しており、多様な子育てニーズへ対応がしっかりと実施できている。	15点
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・子育て支援センターファミリー会(5月・11月) 父親の子育て応援企画として、休館日の土曜日に開催し親子のふれあいを中心としたプログラムを行った。 ・障害者センター利用者との交流 障害者支援センターの利用者を保育園に招待し、クイズやゲームを通して5歳児との交流をおこなった。 ・地域福祉施設への訪問 4歳児が地域の福祉施設「チャッピー」(サービス付き高齢者向け住宅)に訪問し、歌を披露したり、触れ合ったりして、入居者の方と交流を行った。	期待以上 15点	・積極的な自主事業の実施により地域や障がい者等との交流を図る機会を提供し、園児にとってよい経験となっている	14点			
(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・保育室、調理室及びトイレ等の施設清掃(毎日) ・ガラスの清掃年2回、エアコンの清掃 年3回実施(うち業者による清掃1回) ・給食室換気扇の清掃 年4回実施(うち業者による清掃1回) ・給食室グリストラップの清掃 月1回実施(業者による清掃年1回) ・樹木の剪定 2回、園舎周りの除草 5回、園庭の清掃管理(月1回) ・施設周辺の清掃(毎日)	適正(普通) 2点	・適正に実施している	10点		
	②保守・点検		・備品の点検(年1回実施) ・点検一職員による安全点検(月1回) 専門業者による点検(年1回) ・砂場の砂の補充(年1回9月) 抗菌剤による整備(年1回3月) ・非常通報装置点検(6回) 消防用設備点検(2回) 電気工作物点検(月1回)・総合点検(1回)は委託により実施	適正(普通) 2点	・適正に実施している				
	③保安・警備		・夜間・休日館内警備については委託により実施 ・日中は玄関を2重に施錠すると共に、設置された防犯カメラの稼働状況を確認して日々の防犯に努めた。 ・子育て支援センター来館者の入り口を保育園とは別とし、送迎時間以外は園庭へつながる通園用の門(2か所)については、9:30～15:30の間は施錠した。	適正(普通) 2点	・適正に実施している				

2	施設管理状況 (25点)	④小規模修繕		<ul style="list-style-type: none"> <li>床のささくれ、応急処置(鏝で削り、保護テープを貼った。)</li> <li>網戸張替え(3か所)</li> <li>園児机ささくれ修繕(鏝で削りニスを塗装)</li> <li>調理室外出入口扉修繕</li> </ul>	適正(普通) 2点	・適正に実施している	10点		
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具の使用については使用前に毎回安全確認を実施している。</li> <li>毎月園舎内外の安全点検と日常業務の中で危険箇所を把握し、修繕等必要な場合は速やかに対応している。その他必要に応じて市へ連絡し、対応・対策について協議している。</li> <li>散歩コースの下見を必ず行うとともに、危険箇所を記入することで職員間の情報共有を必ず行っている。</li> </ul>	適正(普通) 2点	・適正に実施している			
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書目録に基づいて適切に管理している。</li> <li>文書はファイルとデータで管理している。</li> <li>個人情報については鍵付きキャビネットにて保管している。</li> </ul>	適正(普通) 2点		・適正に実施している	
		②環境への配慮			<ul style="list-style-type: none"> <li>多治見市の環境方針に準じて対応している。紙はリサイクル紙とし、公文書以外は裏紙を有効活用している。</li> <li>市役所や他の関係機関等の連絡は、可能なものについては極力メールで対応し、紙使用の削減に努めている。</li> <li>冷房、暖房は適切な温度に設定し、環境に配慮すると共に、こまめにスイッチを切るなど節電に努めている。また、扇風機等を同時に使用し、節電に努めた。</li> <li>電力コンサルティングシステムを導入し、電気使用の可視化を行い節電に努めている。</li> <li>飲食を伴う行事は、使い捨てではない箸や食器の持参で廃棄物の抑制に努めている(デイキャンプにて実践)</li> <li>廃材を利用したおもちゃ作りを提供している。(おやつ用のヨーグルトカップやプリンのカップ等も含めて)</li> <li>保護者の送迎時の駐車時には、アイドリングストップをルール化し、エンジンの停止を徹底している。</li> <li>食器の洗浄には、環境にやさしい洗剤を使用している。</li> <li>園児の手洗いは、天然成分の石鹸を使用している。</li> </ul>	適正(普通) 2点		・適正に実施している	
		③バリアフリー			<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内は、段差のないバリアフリー構造であり、玄関から車椅子で入ることができる。園庭に出る際も、濡れ縁の両端はスロープになっており、車椅子でも出入りが可能</li> <li>車椅子用(多目的)のトイレが設置されている。</li> <li>障がいがある子、支援が必要な子もみなひとつのクラスでの生活を保障(インクルーシブ教育を推進)し、心のバリアフリーを目指す保育をしている。</li> </ul>	適正(普通) 2点		・適正に実施している	
		④備品管理			<ul style="list-style-type: none"> <li>備品の点検を年1回実施。備品台帳に基づき管理している。</li> <li>買い替えが必要な備品(10万円以上)については要望書を作成し、担当課に提出している。</li> </ul>	適正(普通) 2点		・適正に実施している	
		⑤個人情報保護			<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報、は、施錠できるキャビネットに収納し管理している。</li> <li>法人において「個人情報保護管理規程」を作成し、年1回職員研修を実施している。</li> <li>個人情報が記載されている書類はブラインドフォルダーを使用し、関係者以外の目に触れないよう配慮している。</li> <li>園児の写真の掲載については、保護者の同意を得て行っている。</li> </ul>	適正(普通) 2点		・適正に実施している	
⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)			<ul style="list-style-type: none"> <li>保育中に起きた事故や怪我においては速やかに子ども支援課に報告している。</li> <li>令和6年度事故状況【通院を伴う怪我6件、診察を伴う怪我1件】</li> <li>令和6年度県報告対象の事故【1件(骨折)】</li> <li>ヒヤリハットを活用し、職員間で共有している。【ヒヤリハット件数2件】</li> </ul>	事故なし・対応に不備なし 0点	・不備なし		
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入(保育園112,182,632円+支援13,170,150円)÷支出(保育園105,873,817円+支援9,134,110円)=109%	105%以上 5点	・良好	5点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園、保護者会による意見ポストを常設している。</li> <li>園からのアンケート実施。(運動参観日後・年度末)その後速やかに保護者に頂いた意見についての回答等を保護者に文書で配布した。</li> <li>保護者懇談会を実施し直接話を伺う機会を設けている。(5月・2月)</li> <li>日々の連絡帳によるニーズの把握に努め、速やかに対応した。</li> <li>子育て支援センターでは、前年度のニーズ調査から新たな事業を取り入れた。【保護者のリフレッシュ事業(ヘッドマッサージ・骨盤矯正)】</li> <li>保護者会役員と話し合う機会を設けた。(年度初め・年度末)</li> </ul>	期待以上 10点	・保護者からの意見、ニーズの把握に積極的に努めており、速やかに対応できている	8点
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の苦情は0件</li> <li>苦情解決責任者(園長)、苦情受付担当者(主任保育士)、第三者委員を公示して保護者へ周知している。</li> </ul>	期待以上 5点	・適正に実施している	5点	
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度も特に異年齢交流(3歳～5歳児)に力を入れ、週2回朝の活動や夏祭り、バイキング給食等を通して思いやりやあこがれの心の育ちに繋がった。</li> <li>5歳児が障害者センターに來園していたが、直接交流できる機会を設けたり、4歳児が池田地区の老人施設に訪問し、歌の披露や手遊びを一緒に行い交流できた。施設利用者の方々にも好評であり、今後も継続して直接交流できる場を設けていきたい。</li> <li>毎日の給食を掲示している。また、「給食だより」にて子ども達に好評な給食やおやつレシピを紹介。食育活動では寸劇を取り入れるなどの工夫で、家庭でも食について親子の会話広がる様クラス懇談会でも話をした。</li> <li>調理員が園児とクッキングを行い、調理の楽しさを通して食育の推進に努めたことにより、自宅でも進んでお手伝いをする姿に繋がった。</li> <li>園周辺の公道の清掃、環境整備に努めた。</li> <li>年長児のお別れ遠足では、公共交通機関(電車)を利用して実施し、切符の購入方法や公共でのマナーなど学べる機会となった。</li> </ul>	期待以上 15点	・異年齢交流や障害者センター等の訪問を通じて、こどもの成長を促すことができている。 ・調理活動や食育活動を通じてこどもの成長に繋げることができている	14点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	・報告書類等の提出は、期限を遵守し確実に提出した。	遅れ・不備なし 減点なし	・不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	<ul style="list-style-type: none"> <li>多治見市の保育方針に基づき保育体制を整え、保育を実践した。(いきいき遊び、いきいき運動遊び、インクルーシブ教育等)</li> <li>市役所子ども支援課による訪問や教育委員会による訪問時において、活動の設定を工夫して取り組んだ。助言やアドバイスのについてはその後の職員会で共有し実践した。(園訪問、巡回相談、教育長訪問等)</li> <li>市からの指示事項等については、必要に応じて、きずなメールや園だよりを利用して保護者への周知に努めた。</li> </ul>	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・指示等なし	0点	
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ・一時保育の実施や支援児を積極的に受け入れ、多様な保育ニーズにきめ細かく対応できている ・大きなトラブルもなく、保護者との良好な関係を築き、適切に保育を実施できている ・地域や関係機関等との積極的な交流、連携をとることができている	極めて良好	

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見

--